



令和5年 11月の園だより



段原みみょう保育園



つぶやきに耳を傾けて

先日はお忙しい中、保育参観に参加していただき、ありがとうございました。5月の参観の時とは違って、少し成長した姿を見ていただくことができたと思います。身近にあるもので玩具作りをしたり、廃材を使って作ったりする場面では、保護者の方も夢中になって作っておられる姿が印象に残りました。

子どもたちにとって、保護者の方と一緒に遊んでもらう楽しさは、自分の存在を受け入れてもらっている喜びとなり、自分に対する自信（自己肯定感）につながります。これからも、できる限り声をかけ、笑いかけ、遊んであげるようにして頂ければと思います。

さて、例年であれば、くまの・みらい保育園の農園で年長組さんが苗植えをしたさつま芋の収穫を体験するのですが、今年はいのししの被害により、収穫することができませんでした。子どもたちは心待ちにしていただけに、残念な結果になりましたが、いのししにも生きていく上において生活があり、それぞれの立場での「いのちをつなぐ」ということを考える機会にもなりました。

幸い、「広島市青少年野外活動センター」での芋掘り体験が可能となり、第二みみょう保育園の年長組さんと一緒に行くことができました。スコップなどの道具を使うことなく、自分の手で芋のつるを刈り、優しく芋の周りの土を掘り進めると、きれいな紅色のさつま芋が顔をのぞかせました。子どもたちは「みて！ほれたよ」と掘り出した芋を持ち上げ、得意そうに見せてくれました。土に触れ、見つけた虫を観察したり、自然に触れるこ

とで心が開放されたようでした。

持ち帰った芋のつるできんぴらを作るため、年長組の部屋でつるのすじを取っていると興味を持った子が集まってきました。最初の内はなかなかうまくいかず、「むずかしいね」などと口にしていましたが、それでも何度か挑戦しているうちに、「おもしろくなってきた！」「太い茎の方がやりやすいね」などコツのようなものを体得するようになって、アツと言う間にきんぴらの準備ができました。子どもたちは芋のつるが入っているビニール袋に顔を近づけ「いいにおい」「山の自然のにおい」「あの山きれいだったもんね」などつぶやいていましたが、この日の山の自然のにおいを感じ自然に触れる体験を通して、広島県の教育委員会があそびを通して身につけて欲しい5つの力の中の「やり抜く力」や、人とかかわる力、豊かな心、感性、粘り強さなど、小学校につながる力を身につけているのだと思いました。

11月10日(日)には、みみょうフェスティバルが開催されます。作品展では各年齢とも日頃のあそびの中で取り組んだ絵や作品の数々が展示されます。我が子だけの作品だけでなく、周りの異年齢の作品も見ると、一年間の成長の姿がお判りになると思います。朝晩とも作品展の様子をいろいろ話してくれると思いますが、お子さんのつぶやきや話にしっかり耳を傾け、楽しみにしているよと伝えてあげると、お子さんはますます自信をつけてくれることでしょう。

園長

参観日 いっしょに作ったね あそんだね



お芋ほり たのしかったね



3歳5歳7歳は、子どもの成長の節目といわれますが、そのときを健やかに過ごせたことを喜び、お祝いをする行事が「七五三」です。地域によって多少異なりますが、男子は3歳と5歳、女子は3歳と7歳にお宮参りをします。また千歳飴は、江戸時代に江戸の浅草の飴屋が考案し、長生きするようにという意味で細長くつくられたものです。

保育園では、“たくさんの人に見守られて大きくなった”ことへの感謝の思いと、“みんながいつまでも元気で幸せに”という願いをこめて異年齢でピュッフェ様式の給食をいただき、お祝いします。

就学時健診について



来春4月より就学予定のお子さまを対象に、各小学校で就学時健康診断が行われます。実施日時・会場などについてはすでに封書にて通知があったと思います。ご確認の上、受けてください。

秋の火災予防運動

11月9日～11月15日

11月9日は「119番の日」

